

# 学 習 指 導 案

科目名	国語総合	実施日時	令和3年11月12日（金）4校時	使用教室	図書室
実施クラス	1年4組40名	所見	授業に真面目に取り組む雰囲気がある。知的好奇心の旺盛な生徒が多い。		
教材	ワークシート				
単元	歌謡曲の世界観を短歌で表現しよう	7時間中6時間目			
単元の目標	優れた表現に接して、その条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。				
単元の評価規準	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解		
	表現の仕方についての批評を通して得たことを、語句の選び方を工夫することに生かし、意図がより伝わる表現として記述しようとしている。	表現の仕方についての批評を通して得たことを、語句の選び方を工夫することに生かし、意図がより伝わる表現として記述している。	短歌の創作に適した表現の仕方や語句の用い方などがあることについて理解している。		
本時の目標	自分の好きな歌謡曲の世界観を表現した短歌について、グループで相互に批評し合った内容を、語句の選び方を工夫することに生かす。				
言語活動	歌謡曲の世界観を短歌で表現したものを、グループで相互に批評し合う。				
	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 の 実 際		
導入 (5分)	<p>本時の目標について確認する。</p> <p>前時に行っているグループ鑑賞会のやり方について確認する。「批評カード」の書き方についても確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;"><b>【創作の要点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 具体性の程度</li> <li>② リズムや音の響き</li> <li>③ 表記</li> </ul> </div>	<p>第2次で創作した短歌の改善案について、各グループで協力し合い考えるように指示する。1グループにつき4人の構成としており、前時に2回（2人分）行っているため、本時では残りの2人分を批評することになる。</p> <p>創作の要点①～③を改めて確認し、表現意図（どんな世界観を短歌で表そうとしているのか）を軸に、あくまでも要点を踏まえて改善点及び改善案を考えるように指示する。</p>	<p>学習活動の〈導入〉では、おもに生徒が授業の趣旨を理解しているかどうかを確認しながら授業を進めていく。</p> <p>〈展開〉から〈まとめ〉にかけては、評価規準をもとに生徒の活動状況を観察しながら授業を進めていく。</p>		
展開 (40分)	<p>グループ鑑賞会の実施 (例) 生徒ア～エのグループで、アの短歌について①～⑤の手順で批評を行う。</p> <p>① アは自分の短歌の表現意図について説明する。（1分）</p> <p>② ①を受けてイ～エは、アに対する質問を考えたり、改善点を探したりする。（3分）</p> <p>③ アの短歌の改善案について、ディスカッションの形式で協議する。（10分）</p> <p>④ 協議をもとに、イ～エは「批評カード」に改善案を記入する。（3分）</p> <p>⑤ 記入したカードをアに渡して終了。</p> <p>次に、残り1名の短歌について、同じ手順で批評を行う。</p>	<p>予定では、鑑賞会1回につき最大20分を想定している。</p> <p>司会者等は立てず、授業者の指示によって進める。</p> <p>① 生徒アには「自分が選んだ歌謡曲には〇〇という世界観が描かれていると考えたため、～～という短歌として表しました。」といった型をあらかじめ提示しておく。</p> <p>② 歌詞をスマートフォン等で適宜参照する。</p> <p>④ その間、アは改善案を考えておく。授業時間中に記入しきれなかった場合は、時間外に書いて、それぞれ渡しておくように指示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">言語活動上の留意点</p> <p>次回の授業での詠みなおし及びその意図の記述に単元の目標があるため、そこで詠み手が改善案を考えやすいような助言を、互いに伝え合うように促す。</p> </div>	<p>【評価方法】行動の観察 [書く能力]</p> <p>【評価Cの生徒への指導の手立て】</p> <p>○協議の内容が要点①～③からずれているグループには、要点を踏まえて話し合うように指示する。</p> <p>○話し合い自体が全くなされないグループには、比較的難度が低い②や③を中心に考えるように指示する。</p>		
まとめ (5分)	<p>鑑賞会の協議内容及び「批評カード」から、改善点・改善案について整理する。</p> <p>次回の授業内容を確認する。</p>	<p>短歌の詠みなおしと意図を記述するためのワークシートを配布する。〈展開〉の内容を自分の中で整理し、詠みなおしにつなげるように指示する。</p> <p>配布したワークシートを、次回持ってくるように伝える。</p>	<p>【評価方法】記述の分析 [書く能力]</p> <p>ワークシートは次回の授業終了時に回収するため、本時の評価対象にはならない。</p>		